

登録コード	HS620200	開講年度	2026				
授業題目	水文水資源工学特論				担当教員	豊田 政史 他	
英文授業名	Advanced Hydrology and Water Resources				副担当	小松 一弘	
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	博士1～3年
				授業形態	講義	備考	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	(授業の達成目標)	
	2026HS初, 2025HS初, 2024HS初, 2023HS初						
	【専攻】理工学系分野における課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力				⇔	水文水資源工学分野における課題の本質を見抜き、解決方法を自ら見出す洞察力を身につけている。	
(2)詳細/Detailed information	必要な情報を自ら収集・分析し、水文水資源工学に関する課題の設定と解決案の提示をできるようにする。						
(3)授業の概要/Overview of course	水文水資源工学に関する課題の全体像を講述した後、論点を絞り混み、必要となる諸情報を収集・分析し、解決案を提示したケーススタディを紹介する。これを参考に、自ら課題を設定し、情報収集と分析、解決案の提示を演習形式で行う。						
(4)授業計画/Course plan	授業は担当教員1名が実施する。授業計画は以下を標準とするが、担当教員により異なることがある。 第1回～第3回：水文水資源工学に関する課題の全体像の講述 第4回～第7回：ケーススタディ紹介 第8回～第30回：課題設定、情報収集と分析、及び、解決案の提示						
(5)成績評価の方法/Grading/evaluation method	解決案の提示とそれに至った根拠の口述または文書レポートで評価する。評価基準は以下のとおりとする。 (1)課題設定の適切さ、(2)背景や必要性、(3)収集した情報の範囲と深さ、(4)分析方法、(5)解決案を導く論理 秀：上記(1)～(5)すべてを満たしている。 優：上記(1)～(5)の4つを満たしている。 良：上記(1)～(5)の3つを満たしている。 可：上記(1)～(5)の2つを満たしている。 不可：上記(1)～(5)のうち、満たしている項目が1つ以下である。						
(6)成績評価の基準/Grading/evaluation criteria	(1)課題設定の適切さ、(2)背景や必要性、(3)収集した情報の範囲と深さ、(4)解析方法の適切さ、(5)解決案を導く論理 秀：上記(1)～(5)すべてを満たしている。 優：上記(1)～(5)の4つを満たしている。 良：上記(1)～(5)の3つを満たしている。 可：上記(1)～(5)の2つを満たしている。 不可：上記(1)～(5)のうち、満たしている項目が1つ以下である。						
(7)事前事後学習の内容/Prep and review work	授業で指摘され実施合意した内容を次回授業までに調査・解析する。						
(8)履修上の注意/Notes							
(9)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	授業の中で対応する。						
(10)授業の形式/Course format							
【教科書/Textbook(s)】	指定しない。						
【参考書/Reference work(s)】	指定しない。						